

外部評価 様式

平成26年度 中央区立久松小学校 外部評価報告書
評価委員：岩田委員、吉澤委員、関口委員、福田（錦）委員、佐藤委員、福田（俊）委員、五味委員、望月委員、川口委員
評価時期 平成27年3月
1 重点目標の評価 重点目標1「豊かな心と健やかな体の育成」について 評価項目（①温かい人間関係の育成②健康教育を通しての自己管理能力の育成③生活習慣や規範意識の定着④課題を解決し実行できる力の育成） ・全教育活動を通して継続していくことで「豊かな心と健やかな体の育成」が図られていると考える。 ・「健康である」と答えている児童が多いが、休み時間の校庭の活用時間の工夫や体育の学習内容を充実させ、食育等の健康教育を継続していくことが大事である。 ・温かい人間関係の育成については、挨拶や思いやりの大切さが様々な教育活動（異年齢活動・交流活動等）で指導されていることが評価されている。久松しぐさをはじめとする集会活動や学級活動を柱に日常生活を通して実践していけるように取組を継続することを期待する。 重点目標2「年間を通した教育課程の充実」について 評価項目（学習指導要領の改訂点と変わらぬ部分の確認と実践・土曜公開、学校評価の積極的な活用・外部評価の充実と活用） ・主体性の育成や関わる力の育成、健康と体力向上といった年間を通した教育課程の充実において保護者アンケートのども項目でも90%以上の評価を得ている。年間を通して教職員が一体となって取り組んだ成果と考える。 ・校外での挨拶やマナーについては、家庭や地域との連携をさらに深め、校内・校外様々な教育活動の場で指導を積み重ね、日常に生かせるようにしていくことを期待する。 ・学校公開や各行事等で保護者や地域が学校・児童の様子をよく見ることができている。HP等でも教育活動を広く発信している。保護者や地域は多くの情報を基に教育活動を評価することができている。 2 今後の改善に向けた意見 ・小集団活動の充実による児童のコミュニケーション能力の育成(27年度校内研究の充実) ・増築工事による校庭・教室等の教育環境を考慮した教育活動の推進（安全面重視） 3 その他の意見

* 3月に各学校のホームページで公表していきます。